

県民の友

3

昭和44年/371号

発行/和歌山県知事室広報課
和歌山市小松原通り1丁目1番地

《腕みがく若い力》

時代のちよう児である。追いまわされ引く手あまたである。産業界は、彼らを『金の卵』という。

彼ら一県下の高等技能学校に学ぶ若者。ことしも、また、就職率は百貨だった。

高等技能学校——かつては、職業補導所・職業訓練所ともいった。

技能者不足の波に対処して、県が職業訓練体制を強化、装いもあらたに生まれかわった技能者養成機関である。そこでは、中学校や高校を卒業して技能関係の職につこうとする人、新しい技能を身につけたい人らに技能とそれに必要な知識を短期に、しかも無料で教えている。現在は、和歌山・田辺の二校。それに、四月から構造物鉄工、建築など、時代の要請にこたえた新しい科目を設置した新宮校が開設される。

和歌山高等技能学校。和歌山市小倉、国道二十四号線沿いにある。一昨年、旧和歌山市内から新築移転されたモダンな校舎である。

卒業をまさにひかえた二月のある日。習得した技能に最後の磨きをかけようと、同校の作業場では、指導員・生徒が一体となって、実習にうちこんでいた。火花を散らす研削盤、板金塗装でみちがえるようになったオンドロ車、キラリと光るカミソリ……、機械、自動車整備、建築、理容など、九科・二百十七人の生徒は、生き生きと立ち働く。

「サラリーマンの單調さをふつ飛ばして、自分の腕をためしてみたい」自動車整備科森脇好君「いまに実力主義の時代がくる。技能士として生きるんだ」同熊代一雄君「技術を身につけることは、独立の最短距離だと思います」理容科I・Eさん。表現の違いこそあれ、この腕一本に将来を託す意気込みで、彼らの瞳は燃えていた。

技能者養成——職人さんづくりと思われやすい。だが、ここは単なる職人さんづくりの学校ではない。産業界の要望する技能者、時代に即応した産業人を養成する学校である。

「体系的、基礎的な知識を十分マスターする」美濃部正義同校訓練課長「技能レベルの向上はもとより、社会人としての心がまえ、社会道徳のかん養に力を入れている」明渡義胤同校校長そして、その評価は、「粘りがある。職場での定着率は抜群、

県内産業の原動力へ

産業人としてのプロ根性もあり、中心的な存在として仕事をしてくれる。一般的の大学卒や高校卒も一年ぐらいはあるそこで職業教育を受けるとともに」

和歌山市坂田 高橋是清経理総務部長

「理論に実行力がともなっている。すぐ

われるより、機械を使い、新しい機械を生み出そうという気概、それに、技能さえあれば、どこでもやってゆけるといふ自信が彼らをそなせたのかも知れないことしも、県外からの求人が卒業生数を上回った。だが彼らの九十割は県内に



指導員の一語一語が彼らの血となり肉となる

県立高等技能学校案内	
人	和歌山市小倉(定員320)
和歌山校	和歌山市佐野(定員60人)
科目	建築
建築	木材工芸 第一自動車整備 第二 自動車整備(仕上げ) ラジオテレビ 理容 洋裁
新宮校	田辺市新庄町田鶴(定員160)
科目	建築 板金 塗装
新宮校	新宮市佐野(定員60人)
建築	構造物鉄工

新県民運動

★きれいにしよう

★親切にしよう

★たくましく鍛えよう

★むだをなくそう

花や木を、わが子のようにかわいがりましょう

第26回和歌山国体



昭和46年

●和歌山国体はこうして
「一人一役」を目標とした県民運動を
強力に展開する

広報ガイド

★紀州アルバム

毎週土曜日 和歌山放送 12:30~12:35

四国テレビ / 11:30~45 県政マイクスケッチ(土)

四国テレビ / 17:30~45 県政の動きやお知らせ(月~金)

●南紀養護学校をたずねて(3月8日・15日)

●県政バス教室

(3月22日・29日)

★広報アワー

和歌山放送 12:30~12:35

県政マイクスケッチ(土)

県政の動きやお知らせ(月~金)

★県政映画

紀州アルバム放映 フィルムや

県政映画「和歌山をひらく」

カラー16分(いずれも16mmフィルム)を貸し出しています

県事務所・県広報課まで

テフや各種の光度計を購入して、食品添加物や医薬品などの検査に備えたほか、臨床検査用の二十日ねずみやうさぎ、がちょうなどの動物飼育室も完備されています。最も充実されたのは公害部で屋上の気測室には大気汚染自動測定機を設置して大気汚染に目を光らす一方、粉じん調査にも特殊な機器をもちいて近府県、関係者の目をみはらせてています。

充実されたおもなものをひろつてみますと、微生物部には、低温実験室や無菌室を設けて、細菌検査に備えたほか、二十五度Cと三十七度Cの二つのふ卵室は、一時に大量の細菌培養ができるようしました。

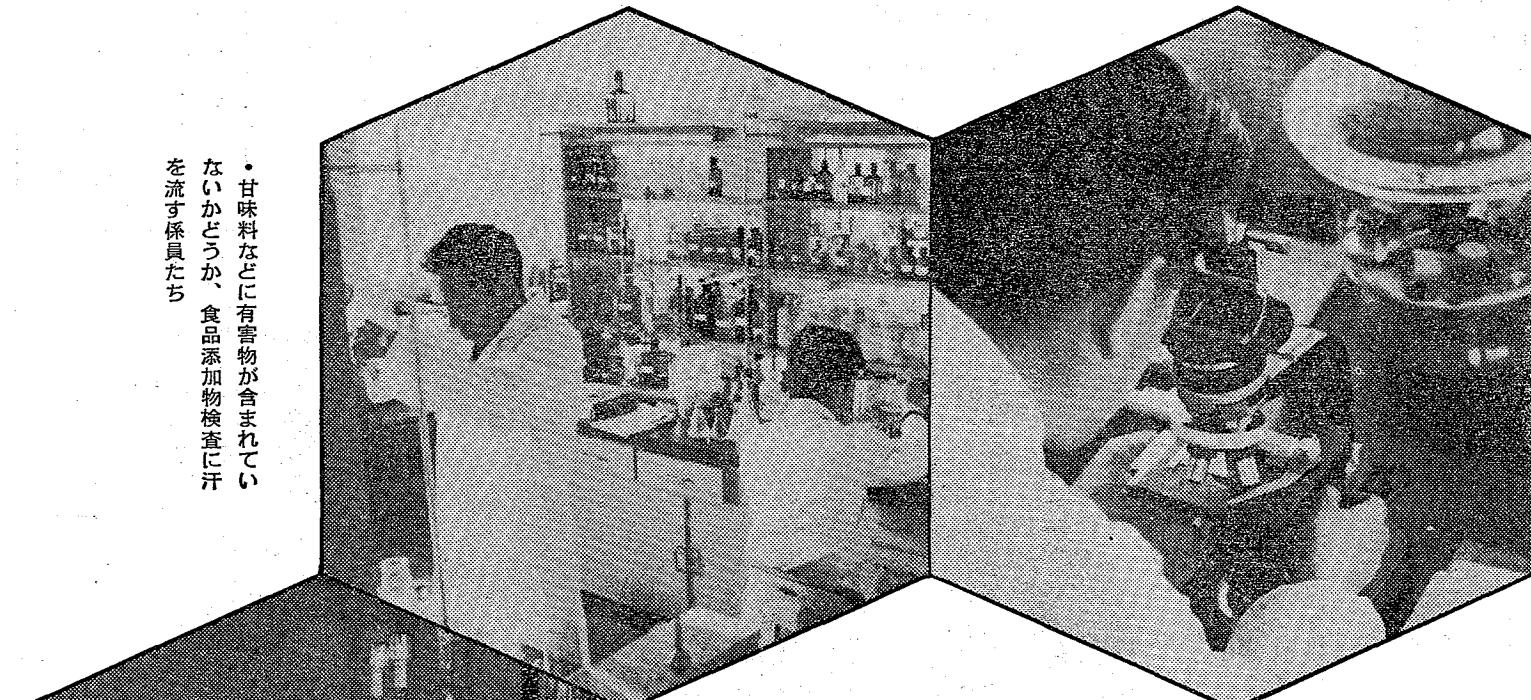
鉄筋三階建て、延べ千百十平方坪（三百三十坪）の建物。

和歌山市湊東の坪、元職業訓練所所あとに新築中の県衛生研究所がこのほど完成、二月一日から新庁舎で業務を開始しました。

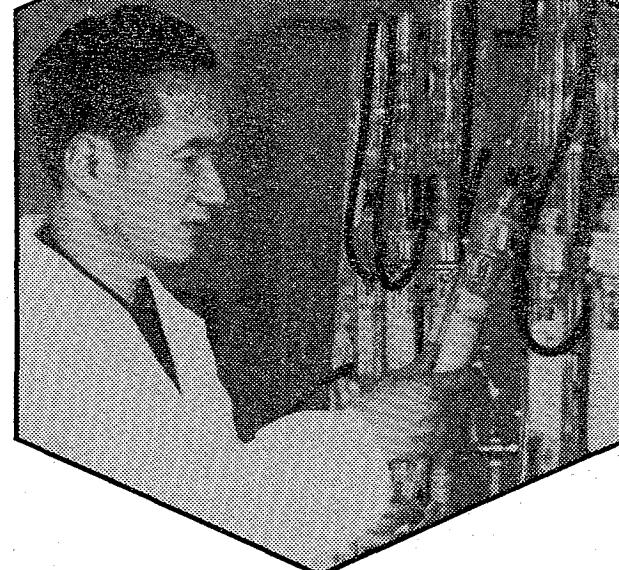
昭和二十五年、県警衛生試験所から、衛生研究所として発足、細菌検査や食品衛生に地道な活動を続けてきましたが、成人病センターや和歌山市中央保健所の一部を間借りするなど、不便が多く、昨

設備も新たに

県衛生研究所が完成



・甘味料などに有害物が含まれていないかどうか、食品添加物検査に汗を流す係員たち



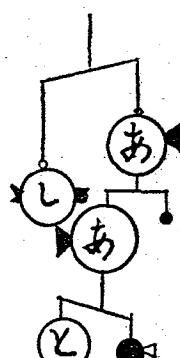
工場操刀力と汽力調査は新兵器登場

十二日 夫婦そろって健
康で、楽しい暮らしを。南
部川村で「おひとり教室」開
催。二十五組の夫婦参加。
粉河町でも始まっている。

二十五日 県公衆衛生課
の西栄一専門技術員ライ
患者管理指導のため沖縄
(二十年この道一筋、全国
でも指折りのベテラン)。

十五日 海南省日方川美化運動協議会 美しい町づくりの努力がみのり、国的新生活運動協議会から表彰をうける。全国五つのうち、十七日 和歌山、大阪、兵庫、徳島、高知各府県の合同観光キャラバン富山県へ。合同宣伝ははじめて。旅は、南近畿、四国路へと。

2月



2月28日—3月6日

山火事予防週間

風みて

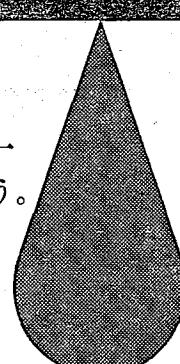
場所みて、

あとをみて、

和歌山県緑化推進会

必ず1戸に1冊は
献血手帳を持って万一
の事故に備えましょう。

和歌山県献血推進協議会
和歌山県赤十字血液センター



不意の輸血に不断の献血!!

